

2 授業科目の概要

<スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	研究デザイン・フィロソフィー	1前	2			11 40	2 3	2				担当教員(泉重樹)の身分昇格のため(准教授→教授)(29) オムニバス
	スポーツ健康学特論Ⅰ(心身科学)	1・2前	2			1						
	スポーツ健康学特論Ⅱ(自然科学)	1・2前	2			2						オムニバス
	スポーツ健康学特論Ⅲ(人文社会科学)	1・2前	2									兼1
展開科目	スポーツコーチング学特論	1・2後 1→2前		2		1						授業運営上の都合により、開講期を変更(29)
	スポーツ運動学特論	1・2前		2		1						
	スポーツバイオメカニクス特論	1・2後		2		1						
	スポーツトレーニング学特論	1・2後		2		1	1					担当教員の身分昇格のため(29)
	発育発達学特論	1・2後		2		1						
	スポーツ教育学特論	1・2後		2		1						
	スポーツメンタルトレーニング演習	1・2後		2		1						
	チームビルディング演習	1・2前		2			1					
	アスレティックトレーニング特別演習	1・2前		2		1	1					
	保健体育科教育法特別演習	1・2後 1→2前		2		2						授業運営上の都合により、開講期を変更(29) オムニバス
	公衆衛生学特論	1・2後		2		1						
	健康体力学特論	1・2後		2				1				
	健康心理学特論	1・2後		2				1				
	スポーツ栄養学特論	1・2前 1→2後		2								授業運営上の都合により、開講期を変更(29)
	運動器疾患特論	1・2前		2		1						兼1
	学校保健学特論	1・2前		2		1						
	体力・機能測定評価実習	1・2前		2				1				
	運動疫学演習	1・2前		2								兼1
	スポーツマネジメント特論	1・2前		2				1				
	スポーツ産業学特論	1・2前		2					1			
	スポーツ健康政策学特論	1・2後		2								兼1
	スポーツジャーナリズム特論	1・2前 1→2後		2					1			授業運営上の都合により、開講期を変更(29)
	スポーツメディア特論	1・2前		2								兼2
スポーツ団体構造特論	1・2後		2								兼1	
スポーツ消費者行動特論	1・2後		2				1					
スポーツフィールドスタディー演習	1・2前		2				1					
スポーツマーケティングリサーチ演習	1・2後		2					1				
研究指導	スポーツ健康学演習Ⅰ	1前	2			10 9	2 3	1				担当教員(泉重樹)の身分昇格のため(准教授→教授)(29) 学生の履修状況により、教授5名准教授1名の6コマ開講とする(29) 学生の履修状況により、教授5名准教授1名の6コマ開講とする(28)
	スポーツ健康学演習Ⅱ	1後	2			10 9	2 3	1				担当教員(泉重樹)の身分昇格のため(准教授→教授)(29) 学生の履修状況により、教授5名准教授1名の6コマ開講とする(29) 学生の履修状況により、教授5名准教授1名の6コマ開講とする(28)
	スポーツ健康学演習Ⅲ	2前	2			10 9	2 3	1				担当教員(泉重樹)の身分昇格のため(准教授→教授)(29) 学生の履修状況により、教授5名准教授1名の6コマ開講とする(29)
	スポーツ健康学演習Ⅳ	2後	2			10 9	2 3	1				担当教員(泉重樹)の身分昇格のため(准教授→教授)(29) 学生の履修状況により、教授5名准教授1名の6コマ開講とする(29)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
8科目	27科目	科目	35科目	8科目	27科目	科目	35科目	
				[0]	[0]	[]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{35} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	なし			
設置計画履行状況 調 査 時	—			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜スポーツ健康学研究科スポーツ健康学専攻＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 現在のところ、当研究科内にFD活動に関わる独自の委員会は設置していないが、全学組織のFD推進センター規程に基づき、FD推進センターアドバイザー・ボード会議に委員(教員と事務職員)が出席し、FDに関する情報の収集およびFD推進センターの取り組みについても助言・提案をし、相互の連絡調整機能を有している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) FDアドバイザー・ボード会議(年3回程度開催)に担当委員(教員・事務職員)が参加し、FDに関する情報の収集およびFD推進センターの取り組みについても助言・提案をし、相互の連絡調整を行った。</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD推進センターによる活動において、センター全体の活動および、「FD計画」、「FD推進」、「FD調査」、「FD広報」、「FD開発」の各プロジェクトからの活動状況の報告を受け、より実効性の高い活動となるようFD推進センター長およびプロジェクト・リーダーとアドバイザー・ボード間で意見交換を行った。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 イ)平成28年度において、FD推進センターの企画するワークショップに参加した。 ロ)①FD学生の声コンクール・FD川柳 ②学生FD座談会の実施 ③「FDハンドブック」及び「学習支援ハンドブック」の改訂 ④FD推進センターのホームページの充実を行った。 ハ)教育学習支援活動の学生参加の推進した。</p> <p>b 実施方法 平成28年度はFD推進センターが企画した以下のワークショップに参加した。 7月16日(土) 第15回FDワークショップ 「カリキュラム・マップ作成ワークショップ」</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) スポーツ健康学専攻からは2名の教員が出席した。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 本学FD推進センターを中心に授業改善に関する種々の取組がされているが、基本的に学部中心である。</p>

大学院の授業や研究指導に関わる改善活動は対応が遅れていると認識している。学内あるいは他大学で成功している大学院のFD事例の収集およびそれらの情報の共有化も進めながら、改善の道筋をつけたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

期末「学生による授業改善アンケート」は年2回、6月～8月（春学期末）および12月～1日（秋学期末）に実施している。また、4期制の研究科は5～6月、10～11月にも実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学のホームページや印刷物にて公開し、教職員および学生が参照できるようにしている。また、Webでの実施となり、教員は自身の結果をWebからタイムリーに確認できる。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

a 公表（予定）時期

平成28年10月公表済

b 公表方法

大学ホームページ上に公開（平成28年10月公開済）。

③ 認証評価を受ける計画

平成24年度 評価機関（公益財団法人大学基準協会）の認証評価を受審し、適合認定を受けている。

次回は平成31年度に認証評価を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年11月)